

## 工場環境保全対策

土壌や地下水・大気への環境汚染を防止するため、グループ一体となった環境保全活動を行っています。環境汚染を未然に防止するため、公害防止対策を行うと共に、土壌、水質、大気、振動、騒音、粉塵などの測定を行っています。

### 排水分析結果(湖西工場)

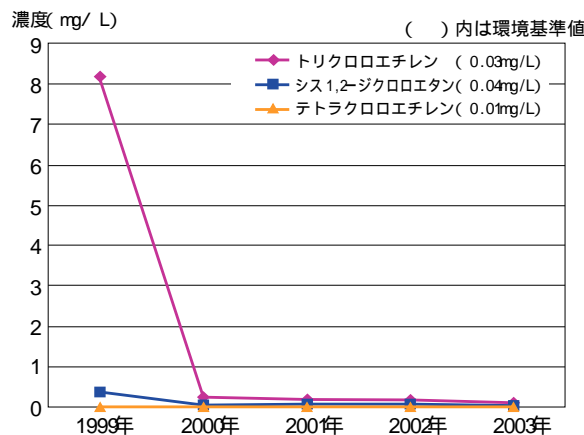
分析項目	単位	規制基準 (国)	管理基準 (FDK)	実測値 (最大値)
PH (水素イオン濃度)	——	5.8~ 8.6	6.0~ 8.4	7.4~ 8.1
COD* (化学的酸素要求量)	mg/l	160	15	14
BOD* (生物化学的酸素要求量)	mg/l	160	15	7.1
SS (浮遊物質)	mg/l	200	20	3.8
n - ヘキサン抽出物質	mg/l	5	3	2.9
銅	mg/l	3	0.5	0.1
亜鉛	mg/l	5	0.5	0.3
溶解性鉄	mg/l	10	3	<0.3
溶解性マンガン	mg/l	10	3	<0.1
窒素	mg/l	120	40	17
リン	mg/l	16	5	2.4
ニッケル	mg/l	——	0.5	0.4
鉛	mg/l	0.1	0.05	<0.01
ジクロロメタン	mg/l	0.2	0.1	<0.02

ベンゼン、フッ素、砒素、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1 - 1 - 1トリクロロエタン、総水銀、四塩化炭素、カドミウムについては、自主基準値及び検出限界値を大幅に下回っていました。

### 土壌の浄化

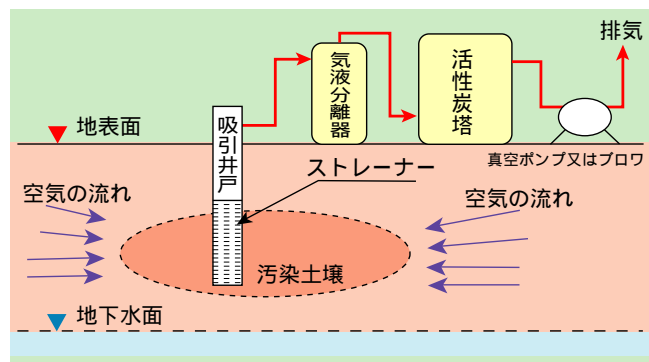
1999年10月に土壌・地下水汚染を公表し、4工場(鷺津工場、細江工場、大須賀工場、山陽工場)において土壌・地下水汚染の浄化対策を進めてきました。2002年に細江工場の土壌浄化が完了し、その他の3工場については引続き浄化工事をすすめ、浄化の効果が見られております。尚、浄化状況は定期的に行政に報告しています。

### 山陽工場の土壌浄化推移グラフ



### 土壌ガス吸引法の概要

土壌浄化を行っている、鷺津工場、大須賀工場、山陽工場の3つの工場は、土壌ガス吸引法によって土壌の浄化を行っています。具体的には、ボーリングにより「吸引井戸」を設置し、真空ポンプまたはブロウにより吸引井戸を減圧することによって気化したガスを地上に導いて、活性炭で吸着除去させて浄化を行っています。



COD\* 化学的酸素要求量のこと。有機物を酸化剤で化学的に酸化するときに消費される酸素量。海や湖沼の有機物による水質汚濁の指標。  
 BOD\* 生物化学的酸素要求量のこと。水中に存在する有機物のうち、微生物が分解できる量を示す。排水処理の性能を評価したり、河川の水質を評価する時に使用される。